

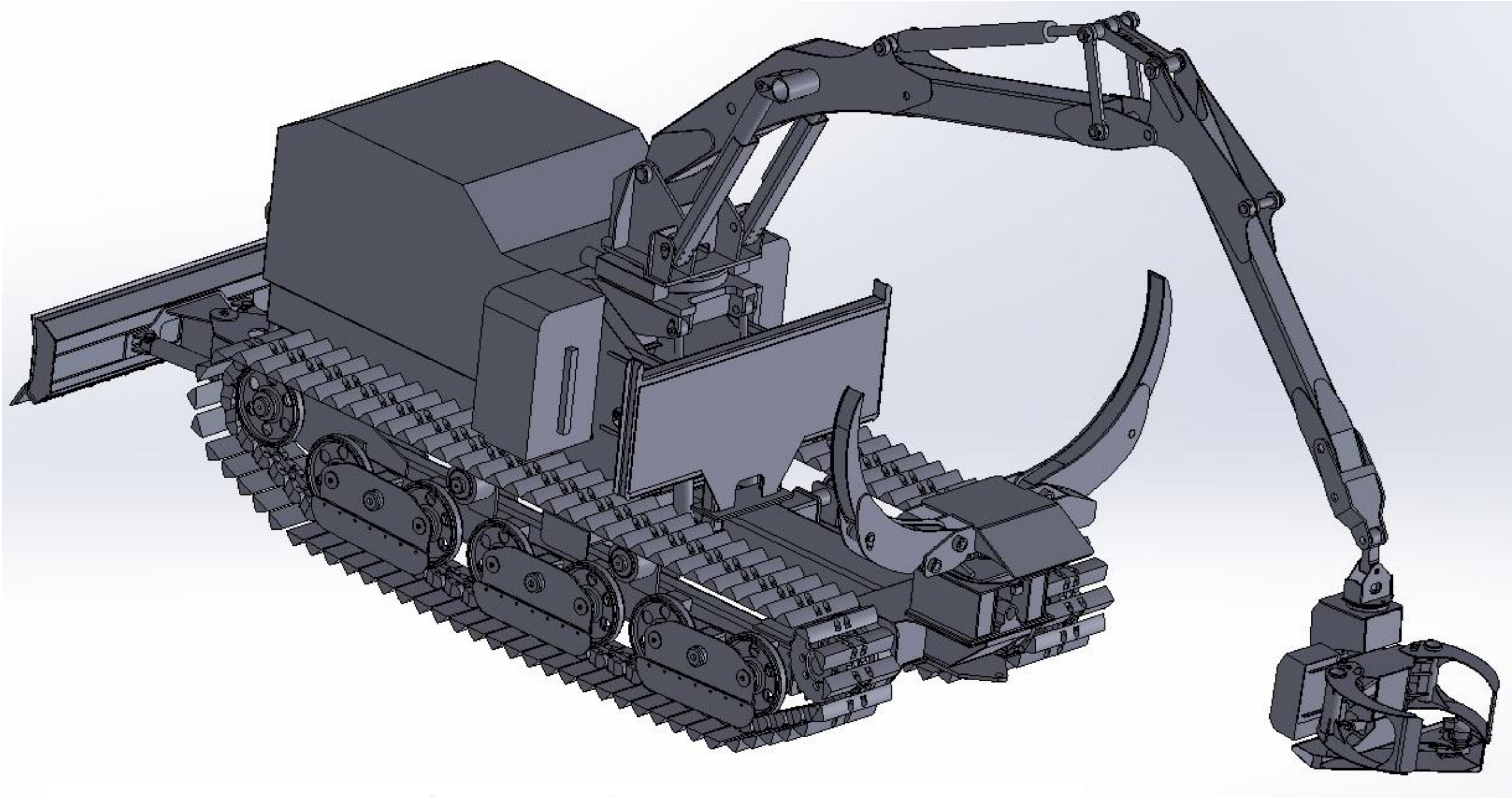
団体名：松本システムエンジニアリング株式会社
発表日：2026年7月23日

■ 事業の目的

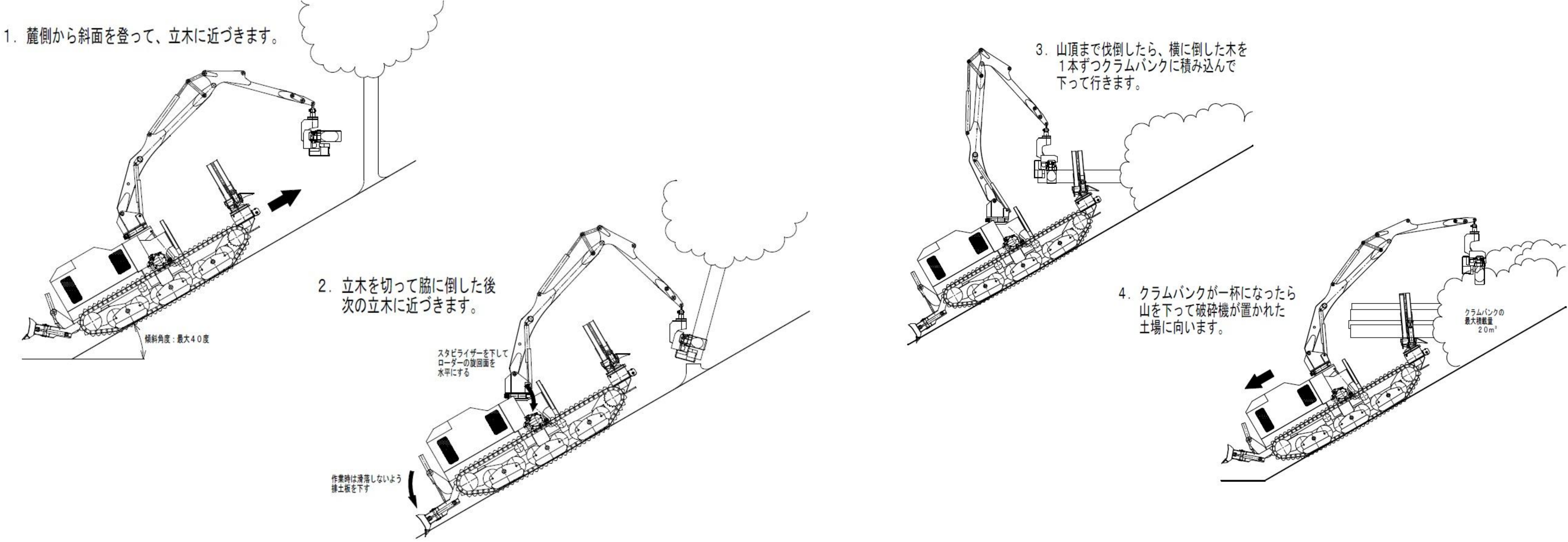
木質バイオマス発電に係る事業の持続性に資するためには、バイオマス燃料の安定的・効率的な供給システムの構築が必要である。しかし、現在の供給システムでは木々の伐採からチップーへの投入までの行程に多くの人手関わっていて効率が低く、さらに林業では労働災害が最も発生しやすい工程でもあって、作業効率の点だけではなく、作業者の安全性からも問題となっている。

上記問題を解決するため、作業者 1 人 1 日の木材搬出量を現状の 5 ～ 1 0 m³から 5 0 ～ 8 0 m³に大きく向上させると共に、作業者の死傷事故を 0 とする無人全木材伐倒・搬出車両「ティラノロボ」を開発する。

■ ティラノロボの概要



諸元		
車体寸法	長さ	7540mm
	幅	2400mm
	高さ	2920mm
	最低地上高	600mm
	履帯幅	600mm
	履帯接地長	2700mm
車体重量		16000kg
エンジン	出力	129.4kw(175PS)
走行装置	方式	油圧式
	駆動力	16000kgf
	最高速度	14km/h



■ 2025年の成果

本開発機の全体設計・機械部品の製作図面作図を行った。2026年度から機械部品の製作及びソフトウェアの開発を開始。

■ 今後の取組

- 2026年度 開発機を完成させて、基本動作確認試験と調整作業まで実施
- 2027年度 全国 5ヶ所（北海道・秋田県・栃木県・岡山県・大分県）の林地で評価試験を実施

■ 実用化の見通し

事業終了後、全国での評価試験で得られた知見をフィードバックして改良を行った上で2028年度第 3 四半期以降に受注生産を開始する予定。その後 3 ～ 4 年をかけて量産体制を整えていく。
販売価格は現在のところ 5 千万円を想定。